

清流の国ぎふ芸術祭

第5回 **ぎふ**
美術展

日本画／洋画／彫刻／工芸／書／写真／自由表現

[搬入] 飛騨 | 2024年7月16日(火)／飛騨・世界生活文化センター

東濃 | 2024年7月17日(水)／パロー文化ホール

岐阜 | 2024年7月19日(金)・20日(土)／岐阜県美術館

2024.8.17 SAT — 9.01 SUN

岐阜県美術館 入場無料 ADMISSION FREE

岐阜市宇佐4-1-22

[開館時間] 10:00-18:00

初日は14:00から、最終日は14:30まで

[主催] 岐阜県・岐阜県美術館、(公財)岐阜県教育文化財団

[お問合せ] (公財)岐阜県教育文化財団 〒502-0841 岐阜市学園町3-42 ぎふ清流文化プラザ1階
TEL 058-233-8161 (県民文化課)

作品募集

うまれる。あふれだす。

公式ホームページ
www.gifu-art.jp



第5回 ぎふ
美術展作品
募集

審査員

日本画	内田 あぐり	日本画家、武蔵野美術大学名誉教授
	野地 耕一郎	泉屋博古館東京館長
洋画	高橋 秀治	豊田市美術館館長
	馬越 陽子	洋画家、日本芸術院会員
彫刻	楠元 香代子	彫刻家、鹿児島市立美術館館長
	林 武史	彫刻家、東京藝術大学教授
工芸	内田 篤呉	MOA美術館館長
	森口 邦彦	染織家、重要無形文化財「友禅」保持者
書	島谷 弘幸	皇居三の丸尚蔵館館長
	土橋 靖子	書家、日本書芸院理事長
写真	鳥原 学	写真評論家
	野口 里佳	写真家
自由表現	榎本 了彦	クリエイティブ・ディレクター、大正大学教授
	野村 佐紀子	写真家

応募規定

応募資格	制限はありません
応募点数	1部門につき1人1点
応募料	1点につき2,000円

ただし、大学生及びこれに準ずる方は1,000円、
高校生以下及び障がい者手帳をお持ちの方は無料
※高校生以下とは、令和6年4月1日現在において、
高等学校・特別支援学校高等部に在籍又は18歳未満の方を指します。

審査会

2024年7月23日(火)
岐阜県美術館

表彰式・開場式

2024年8月17日(土) 13:00-
岐阜県美術館

賞

ぎふ美術展賞	各部門1点/記念品：鈴木藏氏※1 陶芸作品
優秀賞	各部門2点/記念品：林正太郎氏※2 陶芸作品
奨励賞	各部門若干数

※1 重要無形文化財保持者[人間国宝]
※2 岐阜県重要無形文化財保持者

作品規格

日本画	・1辺50cm以上、縦250cm・横200cm以内とする。壁面展示が可能なものに限る。 ・額装する場合、額縁の幅は5cm以内とし、作品重量に耐えうる展示用金具をつけること。なお、ガラス、アクリル共に不可とする。
洋画	・1辺50cm以上、縦250cm・横200cm以内とする。壁面展示が可能なものに限る。 ・額装する場合、額縁の幅は5cm以内とし、作品重量に耐えうる展示用金具をつけること。なお、ガラス不可、アクリル可とする。
彫刻	・高さ250cm、横・奥行200cm以内(台座含む)、重量1t以内とする。 ・一点に荷重が集中する場合は、台座をつけること。
工芸	・陶器・磁器・漆・金属・染織・木工・竹工・七宝・革・ガラス・紙・人形・その他とする。 ・平面作品については、縦250cm・横200cm以内、立体作品については、高さ250cm、横・奥行200cm以内、重量200kg以内とする。 ・組作品の場合、個数は問わないが、上記範囲内に収まるように配置すること。また、必要に応じて展示用具を用意すること。
書	・縦250cm・横200cm以内とする。壁面展示が可能なものに限る。 ・額装の場合は、ガラス、アクリル共に不可。ただし、篆刻及び半切(1.5尺×5.5尺)以下の作品はアクリル可。また、作品重量に耐えうる展示用金具をつけること。 ・文字性の有無は問わない。なお、文字性のある作品については必ず釈文をつけること。
写真	・プリント作品については、縦250cm・横200cm以内のパネル張り又は額装とすること。 ・組写真の場合、枚数は問わないが、上記範囲内に収まるように配置すること。 ・額装する場合は、作品重量に耐えうる展示用金具をつけること。なお、ガラス、アクリル共に不可とする。 ・デジタルデータ作品については、10MB以下とする。公式ホームページの応募フォームからの応募とし、JPEG形式によるものとする。組写真の場合、枚数については自由だが、合計50MB以下とする。
自由表現	・上記部門に含まれない又は部門をまたがる芸術表現。 ・平面・立体問わず、高さ250cm、横・奥行200cm以内、重量1t以内とする。 ・映像作品については5分以内とする。DVDあるいはBD(ブルーレイ・ディスク)での応募とし、家庭用DVD、BDプレイヤーかつPCで再生可能な形式とすること。また、映像前後の2秒間に黒味を入れること。



公式ホームページ

・応募の詳細については、応募要項又はぎふ美術展公式ホームページ(<https://www.gifu-art.jp>)をご覧ください。
・ぎふ美術展に関する重要なお知らせ(社会情勢その他の理由のために日時や会場を変更する場合等)は、公式ホームページに掲載します。
・公式ホームページでは、過去の展覧会場をパソコン、スマートフォン等からVR体験できる「3Dバーチャル美術展」を公開しています。ぜひご覧ください。



「清流の国ぎふ」文化祭2024・
清流の国ぎふ総文2024
応援事業